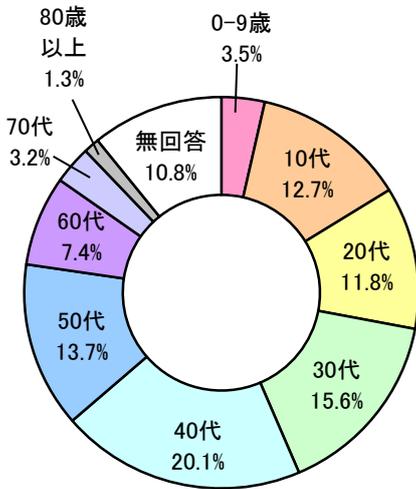


特別展「鳥獣戯画 -京都 高山寺の至宝-」 アンケート集計結果

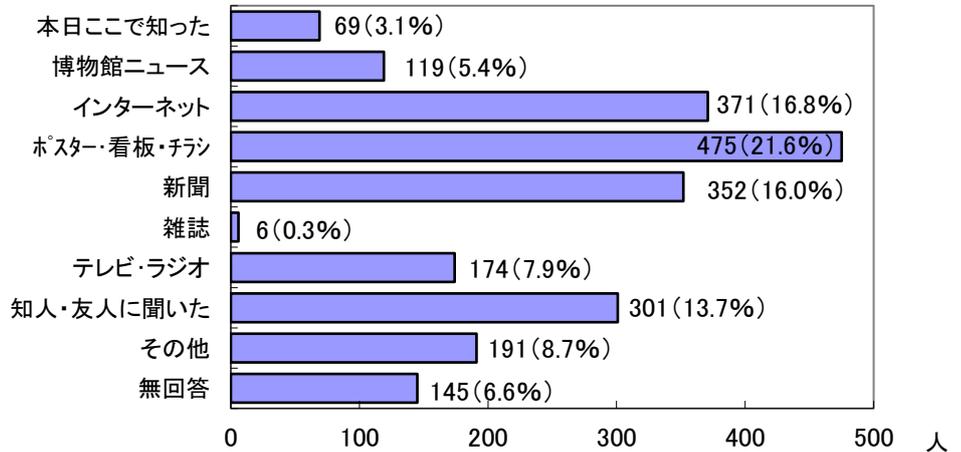
開催期間：平成27年4月28日（火）～ 6月7日（日）（36日間）

回答者数：1,777人（総入館者数：239,115人 アンケート回収率：0.74%）

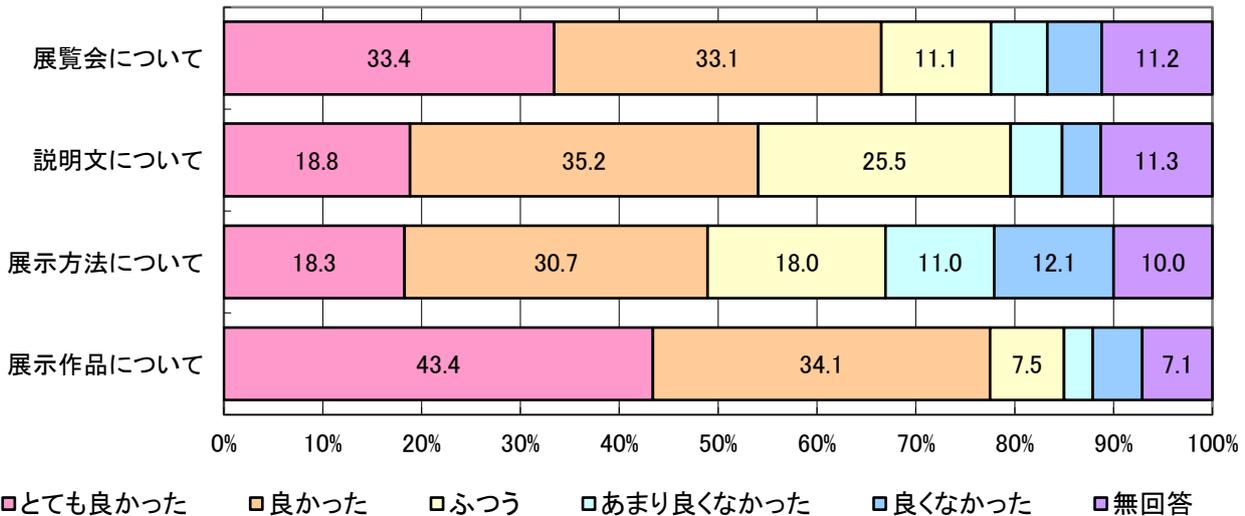
①アンケート回答年齢層



②認知経路(複数回答)



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・親しみのある国宝「鳥獣戯画」を間近で見られて感動した。
- ・高山寺伝来の宝物から明恵上人の人物像が理解でき、大変勉強になった。
- ・「明恵上人像(樹上坐禅像)」「華嚴宗祖師絵伝」「神鹿」「子犬」がよかった。
- ・待ち列対応(誘導・待ち時間表示・日傘・給水・テント等)が良く、スムーズに並べた。
- ・甲巻の待ち時間が長かった。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展覧会	5.7	5.5
説明文	5.2	3.9
展示作品	2.9	5.0

(%)

多くの人が一度は目にしたことのある、日本で最も有名な絵巻、国宝・鳥獣戯画。墨線のみで動物や人間たちを躍動的に描いた、日本絵画史上屈指の作品です。国宝の甲・乙・丙・丁4巻とともに、この4巻から分かれ、国内外に所蔵される断簡5幅も集結し、また鳥獣戯画の伝来した京都・高山寺より、明恵上人の信仰と深く関わる美術作品もあわせてお目見えしました。高山寺ゆかりの至宝と、全巻の修理を終え、現存する全ての鳥獣戯画をご紹介する機会となった本展には、24万人近い方々にご来館いただきました。アンケートの結果、展覧会に対して約67%の方々から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見をいただくことが出来ました。一方で、「長時間並んで大変だったので整理券があればよかった」「鳥獣戯画の展示は、会期を分けて全て本物を展示してほしい」などのご意見も寄せられました。今後も、来館者からお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。